

# 農作物技術情報 第1号 果樹

発行日 令和7年3月19日  
発行 岩手県、岩手県農作物気象災害防止対策本部  
編集 岩手県農林水産部農業普及技術課 農業革新支援担当(電話 0197-68-4435)

携帯電話用  
二次元コード



「いわてアグリベンチャーネット」からご覧になれます  
パソコン、携帯電話から「<https://www.pref.iwate.jp/agri/i-agri/>」

- ◆ りんご 令和7年産の花芽は概ね平年並以上確保されています。摘花・摘果は適期に実施し、早期に着果負担を軽減しましょう。
- ◆ 果樹共通 3～4月の気温が高く推移すると発芽やその後の生育は早まります。凍霜害など気象災害発生リスクも高まるので、今後の気象情報には十分注意し、管理作業や災害対策が遅れないようにしましょう。

## りんご

### 1 花芽の状況

- (1) 令和7年産県平均のりんご花芽率は、「ジョナゴールド」、「ふじ」ともに平年より高く、前年より高いです(表1)。また、弱小花芽率は、「ジョナゴールド」、「ふじ」ともに平年並で、前年より低いです(表省略)。
- (2) 花芽調査の結果から、今年の結実率が平年並を確保できれば、平年並以上の作柄が期待できます。
- (3) なお、花芽率が平年より低い地点や、弱小花芽率が平年より高い地点があり、これらの地点では、着果負担の多さや病害による落葉等の影響があったものと推察されます。剪定にあたっては、それぞれの園地における花芽の状況を観察し、管理作業の効率化、農薬の到達性、受光態勢の改善などに留意しながら実施します。また、果実肥大の促進や隔年結果を防止するため、摘花・摘果は適期に実施し、早期に着果負担を軽減することが重要です。

表1 令和7年産りんごの花芽率 (単位:%)

市町村	地区	ジョナゴールド				ふじ			
		R7年産	R6年産	R5年産	平年	R7年産	R6年産	R5年産	平年
農業研究センター		86.7	78.1	91.4	76.3	87.0	73.6	80.6	70.4
盛岡市	三ツ割	76.1	75.8	77.6	81.1	73.1	55.8	65.7	62.8
花巻市	石鳥谷 <sup>※2</sup>	90.8	100.0	100.0	80.7	94.9	85.5	85.6	66.0
奥州市	江刺樽輪	87.5	80.2	68.6	75.4	50.4	74.4	62.2	69.9
一関市	狐禅寺 <sup>※3</sup>	94.3	92.1	63.9	81.5	74.8	75.2	68.1	70.5
陸前高田市	米崎	95.0	79.2	92.2	80.3	89.5	76.7	70.6	71.0
宮古市	崎山	-	-	-	-	91.0	89.2	89.8	80.5
二戸市	下山井	92.1	80.7	85.1	86.7	83.6	67.6	54.6	71.9
県平均 <sup>※1</sup>		89.3	84.7	81.2	81.0	79.6	74.9	70.9	70.4

※1: 県平均に農研センターの値は含まれていない。

※2: R3年産より定点が変更となったため、平年値は花巻市上根子(前定点)の値を使用

※3: R3年産より定点が変更となったため、平年値は一関市花泉(前定点)の値を使用

※4: 調査は前年12月に実施

## 2 発芽予測

- (1) 本年の月別平均気温は、1月が平年より高く、2月は内陸部で平年並、沿岸部では平年より高く推移しました。また、3月第1・第2半旬の平均気温は平年より高く、第3半旬は平年より低く推移しています（図1）。
- (2) 3月15日時点の「ふじ」の発芽予測では（表2）、その後の気温が平年並で推移した場合、県平均で平年の発芽日より3日早い4月2日に発芽すると予測され、沿岸部では平年よりさらに早まることが想定されています。
- (3) また、3月13日仙台管区気象台発表の1カ月予報では、向こう1カ月の平均気温は高い確率が50%です。よって、表2の「2.0℃高い」予測結果で経過する可能性もあると考えられ、その場合は、県平均で平年より7日程度早まる可能性があります。
- (4) 今後も気象予報には十分に注意し、発芽が早まる可能性が高いことを念頭におきながら、管理作業や病害防除、特に凍霜害対策が遅れないように準備してください。

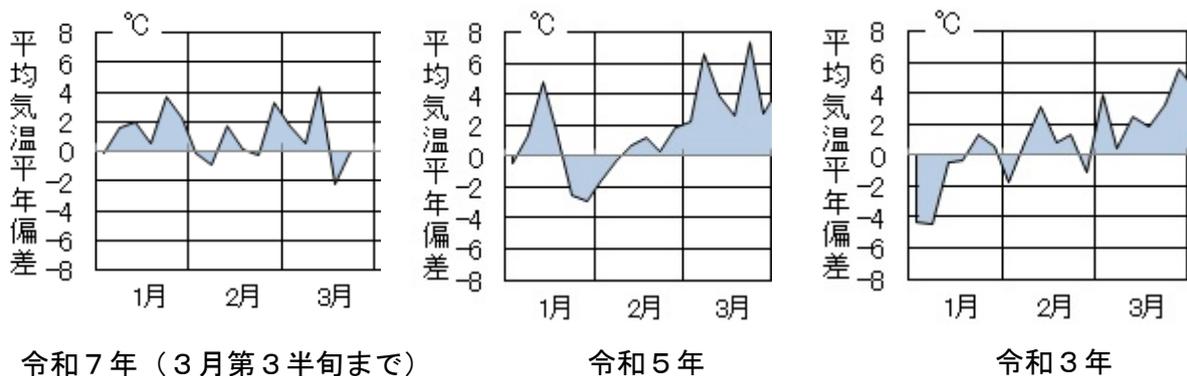


図1 本年及び凍霜害の影響が大きかった年の平均気温平年偏差（アメダス定点：盛岡、1～3月）

表2 ふじの発芽予測結果（予測日：3月15日時点）

市町村	地区	予測データのアメダス地	平年発芽日（月/日）	発芽予測日 予測結果（月/日）※1,2			発芽予測日（平年）と平年発芽日の差（±日）	令和6年発芽日（月/日）	令和5年発芽日（月/日）	令和4年発芽日（月/日）
				2.0度高い	平年	2.0度低い				
盛岡市	三ツ割	盛岡	4/8	4/2	4/6	4/10	-2	4/5	3/24	4/8
花巻市	石鳥谷※3	花巻	4/6	3/31	4/4	4/9	-2	4/2	3/23	4/7
奥州市	江刺樽輪	江刺	4/3	3/29	4/2	4/5	-1	4/3	3/24	4/7
一関市	狐禅寺※4	一関	4/3	3/27	3/30	4/2	-4	3/30	3/21	3/30
陸前高田市	米崎	大船渡	4/4	3/26	3/29	4/2	-6	3/31	3/21	4/1
宮古市	崎山	宮古	4/6	3/26	3/28	4/1	-9	4/3	3/23	4/3
二戸市	下山井	二戸	4/8	4/5	4/9	4/14	1	4/3	3/23	4/6
県平均（参考）			4/5	3/29	4/2	4/6	-3	4/2	3/22	4/4

※1 予測結果の「2度高い」、「平年」、「2度低い」は、予測日以降の気温が、その様に経過した場合の予測結果

※2 発芽予測の定数は、農研で算出した、Ea:20000、平均DTS:7.509386、起算日:2/15

※3 R4年度より定点が変更となったため、平年値は花巻市上根子（前定点）の値を使用。

※4 R2年度より定点が変更となったため、平年値は一関市花泉（前定点）の値を使用。

## 果樹共通

### 1 整枝剪定

発芽時期や防除開始時期が早まることも予想されますので、整枝剪定作業や片付けは早めに終らせ、今後の作業が遅れないようにします。

## 2 凍霜害防止対策

3月の平均気温が平年を上回る場合には、凍霜害回避に向けた早めの対策が必要です。

令和3年は、3月までの高温により生育が10日以上早まったところに、4月に低温や降霜が繰り返して発生し、大きな被害となりました。また、令和5年は、発芽から開花まで観測史上最も早い生育を示すなか、4月下旬の降霜により被害が発生しました。

果樹類の花器は、開花期に近づくにつれ低温耐性が低下します。被害が発生する温度の目安としては安全限界温度（1時間おかれた場合わずかでも花芽が障害を受ける温度）がありますが（表3～7）、植物体の温度は気温より1～2℃低いので、樹体付近の気温はその安全限界温度よりも2℃以上高い状態を保つことが重要です。

表3 リンゴ「ふじ」の生育ステージ別安全限界温度（福島県）（単位：℃）

	発芽期	展葉初期	花蕾露出期	花蕾着色(赤色)期	開花始め～満開期	落花期
生育ステージ						
安全限界温度	-2.1	-2.1	-2.1	-2.0	-1.5	-1.7

表4 ナシ「幸水」の生育ステージ別安全限界温度（福島県）（単位：℃）

	発芽期	花蕾露出期	花弁露出始期	花弁白色期～開花直前	満開期	幼果期
生育ステージ						
安全限界温度	-3.6	-2.9	-2.5	-1.8	-1.3	-1.3

表5 オウトウ「佐藤錦」の生育ステージ別安全限界温度（福島県）（単位：℃）

	発芽期(発芽直後)	花蕾露出期	花弁露出期	開花直前～満開期	落花直後
生育ステージ					
安全限界温度	-3.0	-1.6	-1.5	-1.7	-1.1

表6 モモ「あかつき」の生育ステージ別安全限界温度（福島県）（単位：℃）

	花蕾赤色期	花弁露出始期	花弁露出期～満開期	落花期～幼果期
生育ステージ				
安全限界温度	-2.6	-2.5	-2.5	-2.1

表7 ブドウ「巨峰」の生育ステージ別安全限界温度（福島県）（単位：℃）

	発芽期	1～3葉期	3～6葉期
生育ステージ			
安全限界温度	-4.6	-2.0	-1.8

### (1) 燃烧法

灯油や固形燃料などを燃焼させて園地の気温を直接高めることで（図2）、地表面より1.5mの高さで2～4℃の気温上昇が期待できます。ただし、一定のコスト（30,000円/10a程度）がかかるため、低温になりやすい場所など地形も考慮して設置するなどの配慮が必要です。

なお、燃焼法を実施する際は、事前に各地区消防組合へ届出書を提出してください。

### (2) 防霜ファンや散水氷結法に係る設備の点検整備

生育が早まった場合でも稼働できるように点検整備を早めに行います。畑地かんがいを利用して散水氷結法を行う地域は、4月から利用できるよう関係機関を含めた検討を行います。

### (3) 霜だまりの解消

傾斜地の場合、園内の障害物は、霜だまりを作りやすいので除去します(図3)。また、園地周囲の防風ネットが冷気の流れをせき止めるような場合は、巻き上げておくか除去します。

地温の上昇を促し、低温層の発生位置をできるだけ低くするため、マルチは除去し、草刈り等で草丈を低く保ちます。



図2 燃焼資材の例(左:デュラフレーム、中:燃焼中、右:園地全景)



図3 窪地や傾斜地における冷気の停滞

### 3 病害虫防除

- (1) 休眠期や発芽期の防除タイミングを逃さないよう、生育状況をよく確認するとともに、薬剤や用水の確保を進めます。
- (2) 生育が進むと病害虫の早期発生も懸念されるため、それぞれの園地の発生状況や病害虫防除所が発表する発生予察情報等を参考に、適時適切な防除に努めます。
- (3) なお、病害虫防除については、令和7年3月3日発行の令和7年度農作物病害虫発生予察情報発生予報第1号も参考にしてください(りんご腐らん病、ハマキムシ類、キンモンホソガ等)。

### 4 肥料コスト低減に向けて

肥料・燃油価格の高騰が進む昨今ですが、必要な資材までも安易に使用を控えると収量や品質に悪影響を与えてしまいます。このため、肥料については、土壌診断に基づく適正施肥、たい肥等有機物の活用、施肥量低減技術の導入、肥料銘柄の見直しや調達方式の改善等によりコスト低減に努めます。

岩手県では、肥料コスト低減に向けて下記のマニュアルを発行し、岩手県ホームページに掲載しています。是非一度、お手持ちのパソコンやスマートフォンから確認してください。

岩手県肥料コスト低減対策マニュアル(令和4年1月)

[https://www.pref.iwate.jp/res/projects/default\\_project/page/001/049/686/hiryoukoutoumanyuaru0406.pdf](https://www.pref.iwate.jp/res/projects/default_project/page/001/049/686/hiryoukoutoumanyuaru0406.pdf)

## 山火事警戒宣言発令中！ [ 2月27日 ~ 5月31日 ]

山火事の多くが、ちょっとした火の取扱いの不注意から発生しています。

県民の皆様におかれましては、山火事の危険性を十分認識していただき、特に、強風時や乾燥時には火入れや野焼きなどの火の使用は絶対行わない、タバコの投げ捨ては絶対行わないなど、恐ろしい山火事の防止に御協力をお願いします。

次号は4月17日(木)発行の予定です。気象や作物の生育状況により号外を発行することがあります。農業普及技術課農業革新支援担当は、農業改良普及センターを通じて農業者に対する支援活動を展開しています。